

東京情報大学 社会貢献ポリシー

平成 30 年 2 月 2 日制定

「未来を切り拓く」とは、東京情報大学(以下、本学)が掲げる建学の精神です。この建学の精神の下、情報を活かして新しい未来を切り拓く人材育成と研究活動を推進し、実社会に還元することを本学の社会貢献ポリシーと定めます。

具体的には以下の4つの方針を定めます。

1 人材の育成

社会連携による経験を本学の教育と研究に反映させ、時代の要請に応える有為な人材を育成するとともに、学内における研究・開発の成果を実社会において活用することによって、社会に貢献するよう努めます。

2 研究成果の社会への還元

本学が設立以来培った研究成果を社会に還元するために、公開講座やシンポジウムの開催、生涯学習への対応、地域社会との交流、他大学・産業界との共同研究などを通して高度な教育と研究の場を提供する機会を拡充します。

3 地方自治体・地域社会との連携

本学は、教育と研究の成果を最大限に活用し、様々な主体と連携しながら、地域社会が抱える課題の解決を図ることにより、「まちづくり」や「健康づくり」など地域活性化に貢献します。そして、その手段の一つとして、本学のキャンパスを拠点としながら、関係の深い地方自治体と地域活性化を主眼に置いた連携協定を締結するなど、効果的な事業推進に努めます。また、連携事業への取り組みが、本学の教育と研究のさらなる深化に活かされる好循環を生み出すことを目指します。

4 地域の高校及び小・中学校と連携活動の充実

本学の所在する近隣地域の高等学校や小・中学校の生徒や児童に対して、教育の機会や研究を知る場を提供することで、高度な教育を受ける意義の啓蒙や大学での学修に必要な能力の向上に努めます。とりわけ本学の教育理念である現代実学主義に沿って、社会で進展している現実を高等学校や小・中学校の生徒や児童が体験・理解できるための教育機会の提供に注力していきます。

以上